

構造力学研究室 赤松 弘騎さん

近畿地方整備局・近畿技術事務所主催

第1回『ふれあい土木展』

【研究室対抗関西土木リーグ】

奨励賞を受賞！

国土交通省・近畿地方整備局・近畿技術事務所主催の第1回「ふれあい土木展」が平成25年11月22日(金)10:00~16:00、23日(土)10:00~17:00の2日間開催された。「安全・安心を支える土木技術」をテーマに、新技術・新工法を展示・紹介する場であり、学生による研究成果の紹介として、「研究室対抗関西土木リーグ」と題するパネル展示が両日行われ、23日(土)10:00~12:00には大学生によるパネル発表会が実施された。都市デザイン工学科では、構造力学研究室が参加し、M1の赤松弘騎さんが「疲労損傷した鋼桁橋の安全性に関する基礎的研究」と題して発表した。参加研究室は、京大2、阪大2、神大2、大阪市大1、関大1、立命2、本学1、近大1、大産大1、摂南大1の国公立7研究室、私学7研究室内の計14研究室であり、来場者からの投票と主催者側の専門委員の採点に基づき、優秀賞1点、奨励賞3点が選出された。優秀賞は、神大・地盤研究室が、奨励賞には、阪大・基礎工学部門、大阪市大・橋梁工学研究室、本学都市デザイン工学科・構造力学研究室が選ばれた。写真は、パネルの前で表彰状を手にした赤松さんを撮ったものです。上記の研究に弾みが付いたことは言うまでもありません。

